

研究課題番号	4-2003
研究課題名	植物相の定量的解析による世界自然遺産候補地西表島の管理基盤情報の確立
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	琉球大学
研究代表者名	内貴 章世

1. 委員の指摘及び提言概要

コロナ禍の影響により標本調査に遅れがみられるが、今年度後半からの調査がすすみ、当初の計画が達成できると見込まれる。現地在住の研究者による効率性や科学性の高い研究となっている。堅実な、いわば足でかせぐ方法は強く支援したい。世界遺産登録を受けて、今後さらに予想される観光増に対する有効な観光管理等の課題に貢献することが期待される。島の西側の調査結果が、過去の伐採、開発との関係が明らかになるのでは、という点も期待するところである。絶滅危惧種や外来植物の分布を決めている要因や、植生クラスターの成立要因なども解析できれば、より、保全に寄与すると思う。

2. 採点結果

評価ランク：A